

# 会員さん、こんにちは！

塚本会頭は、多くの会員の皆様との対話を通じ、魅力的な商工会議所づくりを目指しています。現場の声を会議所運営に、会頭の会員訪問レポートをお届けします。

## 最大限のおもてなしの心で 喫茶文化をお届け

京都市内に11店舗と中国・北京に1店舗を展開する有限会社前田珈琲さんを訪問し、社長の前田剛さんにお話を伺いました。

(訪問日：2月7日)



(撮影時のみマスクを外していただいています)

### ▶ 有限会社前田珈琲

代表取締役 前田 剛 さん

1971年(昭和46年)に現社長の父が四条大宮にて創業。以来、文化人など多くの京都人に愛され、ともに育んだ独自の喫茶文化は「コーヒーを通じて全ての人に感動と喜びと幸せを」という理念によるもの。今回訪問した室町本店は、呉服店であった建物を改装し1981年にオープンした約100席の大規模店。店内で焙煎するこだわりの珈琲と、種類豊富な手作りのフードやスイーツは幅広い世代を惹きつけて止まない。

旧明倫小学校が2000年に京都芸術センターにリニューアルした際、出店したことを皮切りに、京都文化博物館別館、京都国際マンガミュージアム、京都国立博物館、さらには二条城や国立京都国際会館と店舗数を増やし、建築と喫茶文化の融合に取り組んでいる。

### コロナ禍での喫茶店経営

人が集う文化施設に店舗の多くを展開しているため、その施設の休業やイベント・会議の中止で大きな打撃を受けている。デリバリーや通販事業が長引くコロナ禍で成長を遂げるも、心地よい空間で、最高の美味しさを、最大限のおもてなしで提供することをモットーとする同社では、一日も早くお客様に来店いただきやすい社会環境が整うことを望んでいる。

「前田珈琲といえばナポリタン!とさせていただくこともありますが、珈琲やフードに止まらず、スイーツや各店舗の雰囲気、従業員との会話など、お客様一人ひとりの『前田珈琲といえば〇〇』を見つけていただきたい。」と前田社長。コロナに負けず、今後も喫茶文化を発信し続ける。

自ら新メニューの開発や広報写真の撮影をしています。繁忙時は調理や配達もします!



各店ディスプレイや空間づくりにもこだわっているのをお客様に楽しんでいただきたいです。

応援!



塚本会頭

大変厳しい環境の中、創意工夫によって、しっかりと事業を継続されていることに感服いたします。皆で談笑しながら、味わい寛げる日が一日も早く訪れることを願っています。そして、ぜひ“私の前田珈琲”を見つけないかと思っております。  
※当日は、人気のテイクアウトを利用し、名物のナポリタンを味わいました。